

地域におけるごみ減量や分別に対する意識と防災意識の向上を

【三島学区】ゴミ対策研修会・防災講演会

《学区データ》

学区名：三島学区

世帯数：4,302世帯

（平成26年3月1日現在）

《団体データ》

団体名：三島学区総代会

事業開始年度：平成25年度



◆取組のきっかけと経緯

①ゴミ対策研修会

市役所環境部ごみ対策課から、各学区においてゴミ対策研修会の開催依頼があったため、三島学区の意識も低かったこと、また過去に一度も開催したことが無かったことから開催しました。

②防災講演会

三島学区在住の「あおぞらの会」代表志村さんがボランティア活動に熱心であり、東日本大震災のボランティア活動中に知りあった宮城県石巻市北上中学校前校長畠山氏に、実体験を語っていただき、三島学区の防災意識を高めるために講演会の開催を依頼しました。

◆事業内容

①ゴミ対策研修会

- ・ 学区美化活動の一環としてゴミ対策研修会の実施
- ・ 開催日：平成25年6月9日実施（平成24年実績有）
- ・ 講師：ごみ対策課課長
- ・ 出席者：総代18名。各町ゴミ減量推進員20名。合計38名。

②防災講演会

- ・ 防災意識を高めるため、東日本大震災現場実体験談を語る講演会の開催。
- ・ 開催日：平成25年11月15日
- ・ 講師：宮城県石巻市北上中学校前校長畠山卓也氏
- ・ 出席者：三島小学校児童208名。三島学区民及びその他学区民含め107名。合計315名。

◆成果

・三島学区は土地が高いという立地条件から、防災意識があまり高くありませんでしたが、講演会開催後は、学区の市民の防災意識が向上しました。実際に震災を目の当たりにした実体験の講演であったため、防災への取組に対する講演は説得力が有り、防災意識の向上を図るには十分でした。

・ごみ減量推進員は毎年代わる町もあり、今までは統一した考え方がありませんでした。しかし、研修会後は、統一した取扱いを図ることができました。

◆今後の展望・課題

他学区及び他町からの不法投棄防止対策が課題です。

2年連続でゴミ対策研修会を実施した結果、学区民の意識の向上が見受けられるため、今後も可能な限り続行していきたいと考えています。



こんな工夫をしています！

●子どものうちから防災意識を高め

地域における防災意識の向上を図

った！

→ 研修会及び講演会に参加することが重要であるため、総代から「かいらん」による周知を図りました。

学校からは高学年の生徒への参加を促すことで、子どものうちから防災意識を高め地域における防災意識の向上を図っていきます。

注目ポイント！

●講習会実施後、ごみ減量や分別に対

する意識が向上した！

→ ごみ減量推進員は1年の任期の方が多いため、ごみの分別やごみ出しの徹底が課題でしたが、講演会に参加し講演を直接聞くことで、ごみ減量や分別に対する意識が変わり、ごみ分別とごみ出しが改善され、学区民の意識の徹底を図ることにつながってきています。